

2013年5月13日

主催 子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 ・ 公益財団法人日本対がん協会

「子宮頸がんHPV併用検診推進サポートセミナー」のご案内

参加費：無料

〈札幌5月9日、仙台5月14日、東京5月15日、大阪5月23日、岡山5月16日、福岡5月17日〉

後援 厚生労働省 公益社団法人日本産科婦人科学会 公益社団法人日本産婦人科医会
日本婦人科腫瘍学会 日本婦人科がん検診学会 日本臨床細胞学会

「子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(通称:子宮頸がん予防ゼロプロジェクト)」<議長:野田起一郎(近畿大学前学長)>は、子宮頸がんの征圧をめざし専門の枠を超えて、医師、専門家、患者団体、企業が力を合わせ、多面的な視点から社会・行政に向けた提言を行い広く活動しています。

現在日本の子宮頸がん検診では、子宮頸部の細胞の形の異常を調べる「細胞診」が広く行われています。しかし、細胞診による前がん病変の発見率は70~80%といわれています。子宮頸がんの原因である「HPV検査」を合わせて実施することで、精度が高く、効率的で費用対効果の高い検診となります。病変の見落としを減らし、次の検診受診までの間隔を延ばせるため、先進国ではHPV検査の導入が進んでいます。日本でも一部の自治体で、病変発見数の増加、若年者の受診率向上、検診費用の削減などの効果がみられています。

厚生労働省はHPV検査の検証のため、平成25年度予算案に一部の市区町村において30、35、40歳を対象にHPV検査を実施するための費用を盛り込んでいます。

「子宮頸がん征圧をめざす専門家会議」では、公益財団法人日本対がん協会と共催で、HPV併用検診導入の意味、医学的なエビデンス、実施のポイント等について解説する「子宮頸がんHPV併用検診推進サポートセミナー」を全国6か所で開催いたします。

全国の自治体の子宮頸がん検診担当者の方々をはじめとした、数多くの皆様にご参加いただけましたら幸いです。

<この件に関するお問い合わせ先>

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 事務局：戸倉・城下

電話番号：03-3546-2521 FAX：03-3549-1685

Eメール：cczeropro@ellesnet.co.jp ホームページ：<http://www.cczeropro.jp/>

主催：子宮頸がん征圧をめざす専門家会議 公益財団法人日本対がん協会
後援：厚生労働省 公益社団法人日本産科婦人科学会 公益社団法人日本産婦人科医会
日本婦人科腫瘍学会 日本婦人科がん検診学会 日本臨床細胞学会

「子宮頸がんHPV併用検診推進サポートセミナー」（参加費：無料）

【目的】

子宮頸がんHPV併用検診（細胞診+HPV検査）の導入の意味、医学的なエビデンスと実施のポイント等について解説し、自治体でのHPV併用検診の導入・推進をサポートする。

【開催スケジュール・会場】

開催地	日時	会場
札幌	5月9日(木)14:00～15:30	ACU（札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル 16F）
仙台	5月14日(火)15:00～16:30	仙台市市民活動サポートセンター（仙台市青葉区一番町4-1-3）
東京	5月15日(水)15:00～16:30	東京ステーションコンファレンス（千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー）
大阪	5月23日(木)11:00～12:30	ティーオージー（大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル 17F）
岡山	5月16日(木)14:00～15:30	岡山国際交流センター（岡山市北区奉還町2-2-1）
福岡	5月17日(金)14:00～15:30	福岡朝日ビル（福岡市博多区博多駅前2-1-1）

【講師】

今野 良（自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科教授／子宮頸がん征圧をめざす専門家会議実行委員長）

小西 宏（公益財団法人日本対がん協会マネージャー／子宮頸がん征圧をめざす専門家会議委員）

【セミナー内容】

1. HPV併用検診の医学的なエビデンス
2. 自治体におけるHPV併用検診導入のメリット・デメリット
3. 自治体におけるHPV併用検診実施の実際
4. 質疑応答（セミナー終了後、個別の質問にもお答えします）

お申込み ファクス03(3549)1685（子宮頸がん征圧をめざす専門家会議行き）

ご参加の方は以下にご記入の上 ファックスにてご返送ください *日付に○をお付け下さい

参加日	・札幌 5月9日 ・仙台 5月14日 ・東京 5月15日 ・大阪 5月23日 ・岡山 5月16日 ・福岡 5月17日		
ご所属		参加人数	
お名前			
TEL		FAX	